

殿馬場中だより

生徒のみなさんへ

堺市立殿馬場中学校
令和3年7月20日
第3号
校長 茶谷 佳行

1学期を振り返ってみよう！

自信がなくなったときに、「もう無理だ！」と言わず、
「だったらこうしてみよう」と考えよう！

1学期が終わります。（3年生はあと1週間補充授業があります。）振り返ってみて、約4か月の間は緊急事態宣言やまん延防止の措置が取られ、臨時休校にはならなかったものの、理科の実験や様々な実習など、行事や部活動ができなくなったりと活動に多くの制限がありました。体育大会や修学旅行など大きな行事が延期となっています。2学期はたいへん忙しい学期となりそうです。

このような通常より制限が多い学校生活ですが、これまでも集会で話をしたように、教科書が新しくなり新学習指導要領も始まったので、先生たちも新しい目標を立てて今年度をスタートしています。

みなさんも感じているように変化の激しい社会、そして日常の暮らしの中にAI（人工知能）技術などの普及が進む社会では、ただ単に一方的に先生が知識を教えるだけでは、これからの社会で活躍することはできません。知識の習得はもちろん重要ですが、これからの社会では「身の回りに生じるさまざまな問題に立ち向かい、その解決に向けて異なる多様な他者と協働して力を合わせながら、それぞれの状況に応じて最適な解決方法を探り出していく力を持った人材（深い学び 田村学 著）」が必要であり、活躍できるのです。そんな力をみなさんにつけてもらうために先生たちも研修を続けています。

幸い一人一台のパソコンがコロナの影響で早く配置されたので、パソコンの活用もこれから進んでいくと思います。

そのような中、授業においても講義形式の授業が減り、グループで考えたり意見交換をしたり、調べて、まとめて発表する授業が多くなっています。知識の習得からその活用へ、そして探求へとつながっていきます。みなさんもそのことを知っておいてください。

また、評価においても3観点（〇知識・技能〇思考・判断・表現〇主体的に学習に取り組む態度）で評価をしていきます。



先ほど示した学力（資質・能力）は、なかなか評価が難しいです。これからの評価についても研究を進めなくてはなりません。なかなか点数では測れない学力（資質や能力）があります。

前回の集会で、「期末テストの点数が悪いからといって、それだけで落ち込まないでほしい。自信をなくさないでしてほしい」と話をしました。もちろん、「なぜこの点数がわるかったのか」については、原因を究明ほしいのです。ただ、「私は勉強できない」とか「自分には無理だ」とか思わないでください。テストの点数が、みなさんの人物すべてを評価しているわけではないし、点数では表せていないみなさんの素晴らしい点もあるはずですよ。思うように点数が取れなかったとき、また大きな問題が自分の前に立ちはだかったとき、「ああ、無理だ」とあきらめず、「だったら、こうしてみよう」と考えて見てください。困っている人がいたら、「だったらこうしてみたら」と言ってあげてください。誰だってうまくいかないときはあります。いつも順風満帆な人生なんてありません。自分の思うようにいかなかったときには、いろいろな方法を試してみましょう。必ずや道は開けるものです。

先生たちは、みなさんのいいところすばらしいところをこれからもっと見つけ、伸ばしていきたいと思います。まだまだ発見されていない能力がきっとあるのです。ひょっとしてその力が5年10年後に発揮されるかもしれません。だから、悲観せず、今ある課題にしっかりと取り組んでください。いっしょに頑張りましょう。

宿題・学習を計画的に進め、充実した夏休みを過ごそう！

「やる気」は待っていてもどこからもやって来ない！

長い夏休みに入ります。しばらく学校の日々の勉強から離れて、時間を自由に使えるようになります。その自由な時間を、学校ではできない様々なことに使い、コロナ禍で多くの制限がありますが、よい経験や体験をしてほしいと思います。

ただ、自由な時間がありすぎてなかなかうまく使えないということも起こりがちです。

まず、大切なことは、計画です。今日、明日すべきこと、したいことをあらかじめ計画しておくことです。おそらく、部活動や塾、習い事などが最初に、1日の予定に入ってくると思います。それでも、まだまだ自分で使える時間がたくさんあると思います。その時間をしっかりと計画して使うようにしてください。

学校生活では、時間割というものがあり、みなさんは1時間単位で、国語や社会、数学・・・といった教科の学習をしています。時間割のおかげで、自分で考えなくても1日7時間の学習ができています。時間割は本当にすぐれものです。

みなさんに伝えたいことの一つ目は、この時間割に近いものを作ってほしいということです。

朝は、何時に起きて、花の水やり、そうじ、宿題といったことを習慣として決めるなど、自分自身



の毎日の時間割を作ってください。少し面倒だなあと感じると思いますが、ぜひ心がけてください。

次に、伝えたいことの二つ目です。宿題や学習を実行するためには、とにかく机に座らなければ始まりません。みなさんの中には、「やる気になれへん」と言ってなかなか宿題を始めようとしない人もいます。問題は、「やる気」というものが、待っていれば、どこからか自然にやってくるという思い込みです。脳科学者によれば、「やりはじめないと、やる気は出ない。脳は、何かをはじめないと活動しないので」ということです。

やる気にならなくても、とにかく机に座って、やるべき宿題を出してみる。そして、これなら出来ると思う簡単な問題から始めてみるのです。そのうちにエンジンがかかり出し、やる気が出てくると言われています。ハードルを下げて、簡単なことから学習を始めることがコツです。勉強を始めることのハードルが下がれば、机に向かいやすくなり、習慣化が期待できます。

また、勉強をすぐ始める方法として、外から帰ってきたらまず、机に座るということがあります。一般的に、外から帰ってくると、ソファーに座って携帯をいじったり、テレビをつけて見始めたりと別のことをしてしまいます。こうなると、また机に向かうエネルギーが必要になります。やるべきことがあるときは、家に帰ってきたら、直接すぐに勉強する場所に座るとするのが一つの方法です。試してみてください。よい夏休みになることを期待しています。

幸せになるために、幸せを感じることでできる心をつくる。

人は誰もが『幸せ』を求めています。ただし、「何が『幸せ』なのか」「どのような毎日の生活が『幸せ』なのか」、という定義はたいへん難しいです。人それぞれ価値観の違いにより『幸せ』の感じ方は変わってきます。万人に共通する答えは、なかなか見いだせません。

『幸せ』に近い概念として、『豊かさ』があります。『豊かさ』というとまずは、物質的な『豊かさ』が考えられますが、精神的な『豊かさ』もあります。

戦後日本は、大きな経済成長を遂げ、人々の暮らしは物質的に豊かになりました。しかし、そのことだけで、すべての人が『幸せ』になったわけではありませんでした。経済の発展に伴い自然破壊や競争によるストレス等、新たな問題がたくさん発生してきました。物質的な『豊かさ』＝『幸せ』ではないことが明確になってきています。経済的に行き詰まりを感じるなかで、精神的な豊かさが注目されるようになりました。ブータン王国と日本がよく比較されます。

さて、『幸せ』や『豊かさ』に関しては、さまざまな研究や考察がなされています。

一般的に、『幸せ』の項目として『お金・健康・友だち』が挙げられます。

たとえば、お金がないと毎日食べるものにも困るし、病気になっても病院にもいけません。命に係わる問題です。お金を手に入れて、欲しいものを買うことが、『幸せ』であると考える人は多いでし



ょう。

また、私たちは、健康であってこそ、いろんなことに挑戦ができ、自身の人生を変える、また切り開くチャンスを手にすることができます。健康が『幸せ』の基盤であることを否定する人はいないと思います。

さらに、家族や友だちと一緒におしゃべりをしたり、遊んだりすることが一番の『幸せ』だと考える人もたくさんいます。特に、東日本大震災後は、人と人とのつながり、助け合い、絆が大切だと注目されるようになりました。

この３つは、確かに『幸せ』のためには、欠かせない要素であると思います。

私も、『幸せ』になりたいので、『幸せ』に関する本は、これまでも何冊か読みました。アランの幸福論が有名です。この本には、なるほどと思うことが書かれていますが、先にも書いたように具体的に明確な定義がなされているわけではありません。

その中で、確実に言えることは、表題に示した「『幸せ』を感じることでできる心をつくる」ということです。人によって『幸せ』の感じ方が違うのであれば、できることなら、『幸せ』をいっぱい



感じる方が、『幸せ』です。お金があっても、健康であっても、友だちがたくさんいても、それを『幸せ』と感じなかったら、『幸せ』でないということになります。

貧しくても、健康に心配はあっても、親友がいなくても、『幸せ』を感じている人はいます。

さて、みなさんは、どんな心をもって日々を送っていますか。夏休み、自分の周りにある小さな幸せを見つける努力をしてみてください。

夏休み中もしっかりと感染対策・熱中症対策をしてください。

1学期は、緊急事態宣言が発令され、たいへん厳しい学習環境でしたが、こうして1学期を無事に終えることができました。みなさんの協力のおかげです。ありがとうございました。

しかし、現在も感染者数は増えている状況です。依然厳しい状況は続いていきそうです。たのしい夏休みになるように、健康には十分に心がけてください。

休み中、部活動があり、感染対策と熱中症対策の両方を心がけなければなりません。暑いので当然活動中はマスクをはずしています。しかし、それ以外の時はマスクをし感染対策をしてください。また、外出することもあるかと思いますが、同じように感染対策をしっかりとしてください。

《学校閉庁日を実施します》

8月10日から13日までの4日間、学校閉庁日となります。土日に挟まれるため、7日から15日までは、学校には連絡ができなくなります。詳しいことは、16日の配ったプリントを参考にしてください。